

第16回

日本小児科学会主催

日本小児科学会倫理委員会 公開フォーラム

重篤な疾患を持つ子どもの医療をめぐる話し合いのガイドラインを
現場で活用するために

倫理委員会では、2012年に、「重篤な疾患を持つ子どもの医療をめぐる話し合いのガイドライン」を公開し、2024年7月に同ガイドラインを改訂いたしました。今回、同ガイドラインの普及を目的に、本フォーラムを企画いたしました。多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

開催日時 2026年5月23日(土) 13時～16時

開催形式 オンライン配信形式(事前申込制) 定員 1,000名 参加費 無料

対象 日本小児科学会会員、関連学会会員、医療関係者 など

申込方法 日本小児科学会ホームページからお申込みください

申込締切 2026年4月30日(木)

(申込締切前に関わらず、定員に達した場合は申込を締め切らせていただく場合がございます)

プログラム (プログラムは予告なく変更となることがありますことをご了承ください)

13:00 - 13:10 開会挨拶

第1部 話し合いのガイドラインの解説

座長：笹月 桃子 (日本小児科学会倫理委員会委員長)

13:10 - 13:30 話し合いのガイドライン(2024年版)の概説

福原 里恵 (県立広島病院)

13:30 - 13:45 話し合いのガイドライン：看護の立場から

三輪富士代 (熊本保健科学大学)

第2部 話し合いのガイドラインに基づく実践と課題

座長：種市 尋宙、掛江 直子 (日本小児科学会倫理委員会副委員長)

13:45 - 15:15 話し合いのガイドラインの現場での活用の可能性

新生児診療の場面 : 北畠 康司 (大阪大学)

小児がん診療の場面 : 加藤 元博 (東京大学)

集中治療の場面 : 黒澤 寛史 (兵庫県立こども病院)

慢性腎疾患診療の場面 : 宮原 宏幸 (岡山大学)

先天代謝異常症の場面 : 石毛 美夏 (日本大学)

看護師の視点 : 竹之内直子 (京都府立医科大学)

15:15 - 15:20 休憩

第3部 総合討論：話し合いのガイドラインの現場での活用と可能性

座長：福原 里恵、余谷 暢之 (日本小児科学会倫理委員会話し合いのガイドライン小委員会委員長 / 副委員長)

15:20 - 15:50 総合討論

15:50 - 16:00 閉会挨拶

問い合わせ先：日本小児科学会事務局

TEL：03-3818-0091 / FAX：03-3816-6036



日本小児科学会は
健やか親子21を
推進しています！